

# 大分県外国人総合相談センター おおいた国際交流プラザ

No. 17  
Summer  
2023

## 「日本語おしゃべり会」開催



大分県からの委託を受けて、2月26日に宇佐文化会館「ウサノピア」で開催しました。

「日本語おしゃべり会」は、日本語教室で学ぶ外国人の皆さんに日頃の勉強の成果をショートスピーチとして披露してもらうもので、県内における外国人に対する日本語教育の向上に向け令和2年度から行っており、今回が3回目となります。

まず、県国際政策課の主催者挨拶に続き来賓の是永宇佐市長に祝辞をいただきました。当日は発表者や日本語教室関係者に加え、日本語ボランティアの方等、約80名の方の参加の下で開催することができました。

5教室で学ぶ6カ国、20名の方がスピーチを行いました。その多くは技能実習生で、忙しい仕事の合間に勉強している方ばかりです。将来の夢や母国の家族のこと、日本文化などについて一生懸命、熱く語ってくれました。民族衣装や和服を着て発表する方もいて盛り上げに一役買っていただきました。また、各指導者には、教室の生徒のスピーチの後に発表者の人となりや日頃の指導で気をつけている点などについて説明していただきました。

最後の講評では、県日本語教育総括コーディネーターの立命館アジア太平洋大学の本田教授から、「練習や準備など皆さんの努力が窺え、スピーチはとても素晴らしかった。発表者と居場所としての各教室とのつながりも感じられるなど心温まり幸せな気持ちになった」とのコメントをいただき、会を終了しました。



## information

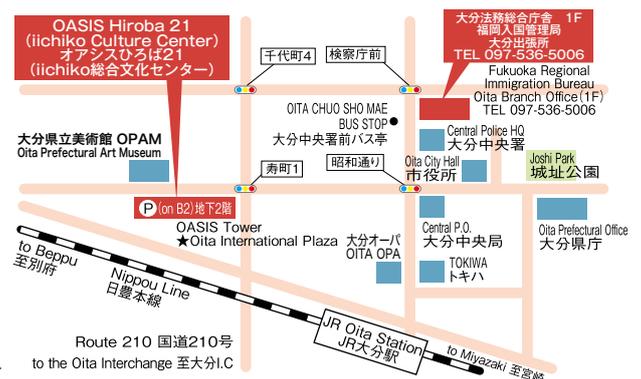
〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター 地下1階  
TEL 097-529-7119 (相談センター)  
TEL 097-533-4021 (国際交流プラザ)  
FAX 097-533-4052 (相談センター・国際交流プラザ)  
URL: <http://www.oitaplaza.jp/> (相談センター・国際交流プラザ)  
E-mail: oisc@emo.or.jp (相談センター)  
E-mail: in@emo.or.jp (国際交流プラザ)

**時間** 月～土 (相談センター・国際交流プラザ)

10:00～17:00 (相談センター)

9:30～18:00 (国際交流プラザ)

※日曜、祝日、iichiko総合文化センター休館日および年末年始はお休みです



## 「令和5年度災害時外国人支援セミナー」開催

大分県からの委託を受けて、6月8日に県立美術館研修室で開催しました。

今回のセミナーは行政職員を対象に開催し、県と7市町の外国人支援や防災業務に携わる担当者22名が参加しました。

冒頭、県国際政策課・荻課長が、近年、地震・豪雨等の災害が多発する中、言葉や文化の壁から災害弱者といわれる在住外国人に対する支援・対応は喫緊の課題である旨のご挨拶がありました。

セミナーでは、佐賀県内で多文化共生推進や外国人支援に携わり、現在は佐賀県庁に勤務する北御門織絵さんに、外国人に対する災害対応について講演していただきました。同県では、5年前の2019年1月から災害の多発や外国人の増加を見据えて多言語支援センター一立上げ訓練など外国人への災害対応の取組を本格化させたとのこと。そのさなかの8月に「佐賀豪雨」による浸水住家6千棟以上という大きな災害が発生しました。

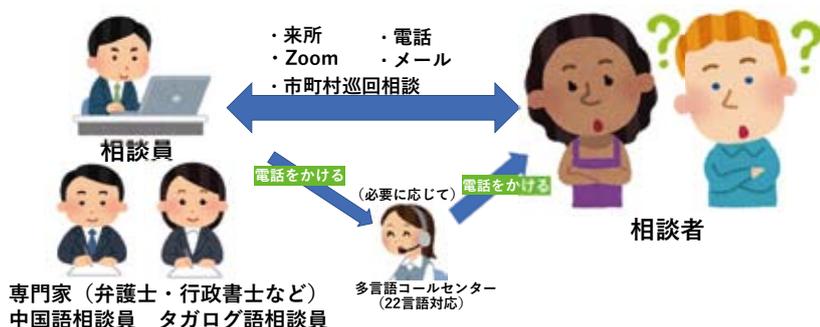


お話の中では、この災害への対応について想定できなかった事態による混乱や手間取りも含めつぶさに検証したこと、また、それ以後現在まで、訓練や行政職員に対する研修を重ねてきたこと、市町との連携による行政区別の在住外国人数の把握など、様々な取組みの紹介がありました。

講演後は、講師のお話を踏まえ、グループワークとして参加者に平時の準備や災害発生時に何を行うべきかなどについて考えていただきました。

今回の研修で取り上げた佐賀県の取組は、大分県内における災害時の外国人支援を推進する上で大変参考となるものでした。

## 相談センター利用イメージ



令和元年6月に開設された「大分県外国人総合相談センター」も4周年を迎えました。

引き続き、外国人住民等の皆さんや関係者が気軽に活用できるように運営して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

利用方法については、HP・SNS等をご覧ください。

HP



Facebook



Twitter



# 相談事例

## ① センター相談

**Q** 外国人です。会社の同僚に資格を取りたいと相談したら「教育訓練給付制度」を教えてくださいました。どんな制度ですか？

**A** 労働者の主体的なスキルアップを支援するため、厚生労働大臣の指定を受けた教育訓練を受講・修了した方に対し、費用の一部が支給される制度です。給付条件や手続きの詳しい内容は、お住まいを管轄するハローワークにお問い合わせください。  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html)

## ② センター相談

**Q** 外国人です。引っ越すので自転車を処分したい。どこに問い合わせればいいですか？

**A** ①お住まいの市役所に問い合わせる  
②リサイクルショップに問い合わせる  
③不用品回収業者に引き取りを依頼する  
※費用が掛かる場合があります。



## ③ センター相談

**Q** 外国人です。出産で会社を休んだ時にもらえる出産手当金について教えてください。

**A** 産前産後休業の期間中、健康保険から1日につき、原則として賃金の3分の2相当額が支給されます。ただし、休業している間にも会社から給与が支払われ、出産手当金よりも多い額が支給されている場合には出産手当金は支給されません。詳細については「全国健康保険協会」にお問い合わせ下さい。  
<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/g2/cat230/r125/>

## ④ センター相談

**Q** 外国人です。日本で就職し厚生年金を納めてきましたが帰国します。返金は可能ですか？

**A** 「脱退一時金」を請求することができます。ただし、日本を出国後2年以内に請求する必要があります。脱退一時金請求書は外国語(14言語)と日本語が併記された様式となっております。詳細については「日本年金機構」にお問い合わせ下さい。  
<https://www.nenkin.go.jp/service/jukyu/sonota-kyufu/dattai-ichiji/20150406.html>

## 専門家相談 中国語相談 タガログ語相談

※相談員の都合でお休みになることがあります。 ※詳細はHPでご確認ください。

### ▶ 専門家相談

■日時 毎週土曜日 13:00～16:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階  
■相談員 外国人Life Support所属行政書士ほか ■費用 無料 ■申込 不要

事前の予約は必要ありませんが、専門家により専門分野が異なることや通訳が必要な場合がありますので相談内容を予めセンターにお知らせください。

### ▶ 中国語相談

■日時 毎週木曜日 10:00～13:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階  
■相談員 おおいた国際交流プラザ 中国語相談員 ■費用 無料 ■申込 不要

### ▶ タガログ語相談

■日時 毎月第1土曜日、第3火曜日 13:00～16:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階  
■相談員 大分県フィリピン友好協会所属相談員 ■費用 無料 ■申込 不要

## 留学是一面多棱镜

在来到日本之前，我对留学生活有过无数次的想象，但直到亲身体验之后，才真正知道了在另一个国家中生活和学习的美妙之处。留学如同一道多棱镜，我通过它发现自我，也发现另一种文化。

2022年9月，当我在夕阳余晖中走下飞机，看着成田机场里随处可见的日语标识，第一次深感已身处异乡。在那之后，我用日语办理酒店入住，用日语问路，用日语买东西，当对方热情地回答我的问题时，我不仅体验到了语言的魔力，也感受到了来自日本的善意和温暖。大家不会在意我的口音和混乱的语法，而是尽力地去倾听我的需求，这让我无比感激。

从来到日本的那一天起，我就像一个小孩子一样学习各种生活技能：坐电车、买东西、看医生……这些在日本人看来再容易不过的事情对于我来说都是一个又一个的挑战。同时，我也努力地在铺天盖地的片假名外来语中生活着，直到现在，我还是偶尔歪着头思考：“这个长长的外来语是什么意思呢？”

如果问我现在有没有适应日本，我会说比半年前要适应了很多。但是仍然有很多新事物等待我去学习，也有很多新的体验等待我去消化和吸收。因为日本的留学生活给了我无数的新体验，无数的崭新经历，这些体验、经历或许是只有在留学生活中才能获得的吧。比如，当我独自在家中做中餐的时候，我意识到了抚养我长大的文化是何等强大，也感受到了背井离乡的孤独；在课堂内外获取的关于日本社会和文化的新知识在满足我好奇心的同时，也无时无刻不在告诉我，人对美好生活的向往以及人性的美好是跨越民族和国家的。

留学是一面多棱镜，它折射出了日本的光谱。我在日本的生活才刚刚开始，期待未来这道光还会变幻得更美丽、更绚烂。



张 驰

来自河北省张家口市，毕业于北京林业大学，  
2022年9月来日，现就读于大分大学经济学研究科。

### 汉语咨询

欢迎您来大分国际交流广场。

您想了解如何排解在日生活中发生的各种困扰吗？

您想咨询大分县人土风情文化和独特的美食吗？

那就来大分国际交流广场吧！

这里有可以用母语交流的工作人员等候您的来访。

愿为您的生活排忧解难，愿为您提供多文化共生环境的  
国际交流，愿为您的生活增添一份愉悦和欣喜。

时间：每周四10:00---13:00

场所：大分国际交流广场

iichiko综合文化中心 地下一层

费用：免费

TEL:097-533-4021

网上咨询：oisc@emo.or.jp

自由参加





## A Shinto-Buddhism Fusion: The Kunisaki Peninsula

On a slightly drizzly day in May we set off towards the Kunisaki Peninsula, looking to sample the highlights of what it has to offer. Though some may feel the weather was disappointing, particularly considering the recent sun Oita had been enjoying, I felt it added to the mystic factor and brought out the character of the places we visited. Starting with Oita Prefectural Museum of History, we set the academic groundwork for our next two stops: Fukiji Temple and Futago Temple. These form part of the *Rokugomanzan* pilgrimage that Kunisaki is known for, marking it as an area steeped in history and tradition, spearheading religious innovations in Kyushu since antiquity.

### Oita Prefectural Museum of History

The Oita Prefectural Museum of History offers a wonderful insight into the long history of Oita Prefecture. Located in Usa City at the base of the Kunisaki Peninsula rather than Oita's capital city, it houses a number of exhibition artifacts detailing what life, religion, and politics were like in Oita Prefecture in years past.

The location was chosen as the Kunisaki Peninsula has historical importance as the entryway of outside influences that have shaped Oita Prefecture and wider Japan for over a millennium. The most notable of such influences is Buddhism. Buddhism entered Oita Prefecture through the Kunisaki Peninsula and mixed and fused with the native Shinto religion, the results of which are tangible today through the *Rokugomanzan* pilgrimage.

The museum also has a to-scale replica of Fukiji temple as it would have looked when it was built. A light show is projected onto the walls of the replica, painting a vivid image through art of the Kunisaki way of life in years gone by.



### Fukiji Temple

With just one day, we only had time for a mini *Rokugomanzan* pilgrimage. The first stop was Fukiji Temple. Its mossy stone steps were worn smooth by generations of shoes, the arch at the top standing proudly against the damp woodland backdrop. The temple itself was an unassuming structure from the outside, however my perceptions were transformed upon stepping within its walls.

As the oldest wooden structure in Kyushu, the temple walls must have witnessed much, I thought to myself, gazing at the faded illustrations decorating the inner walls. The inside walls and pillars were original; faded and worn soft through years of exposure, their warps and grooves seemed to ripple under my touch. It was a mesmerising pocket of history I had stepped into in the depths of Kunisaki Peninsula.



### Futago Temple

Futago Temple was equally breathtaking. Another example of the Shinto-Buddhist fusion born in the Kunisaki Peninsula, it is situated deep in the mountains at the end of a long winding road at the base of Mt. Futago, the highest mountain in the region. It is larger than Fukiji and therefore has more areas to explore. Another set of stairs winds up to a small complex looking down and out over the forest below. Its giant paper lanterns interred within swayed gently in the wind. I could not help but think it would be the perfect hidden corner for meditation.

Winding back down, the steps of the main entrance to the temple this time, we were greeted by the imposing stone Nio guardians in the entranceway, standing one on each side of the stone staircase. The right guardian had his mouth open, vocalising the first of three sounds making up the birth of the universe: Ah. The guardian on the left has his mouth closed, symbolising the final sound: Hum. Together, they symbolise the circular flow of life and death. And with that thought, we circled back to Oita City, having enjoyed a day of historical wonders and religious revelations.



# Festivals and Events

県内イベント案内

※掲載のイベントは、予告なく中止・変更になる場合があります。

## 朝倉文雄生誕140周年記念 猫と巡る140年、そして現在

大分県豊後大野市朝地町出身の朝倉文夫は、日本の近代彫刻を牽引した作家です。本展は、猫の作品を中心に創作を振り返るとともに、大分を拠点に活躍する美術家・安部泰輔と絵本作家／美術家・ザ・キャビンカンパニーの視点も通し作品を顕彰、競演します。あわせて、大分市の遊歩公園に展示されている作品など、広く朝倉文夫作品に触れていただく契機となることを願い企画しました。

開催期間／開催中～8月15日(火)

会場／大分県立美術館 1階  
展示室A・アトリウム

観覧料／一般1,400(1,200)円  
高校・大学生  
1,000(800)円



朝倉文夫《よく獲たり》(1946年)  
大分県立美術館蔵

## 住友コレクション名品選 フランスと日本近代洋画

住友家第15代当主・住友吉左衛門友純(号春翠)が始めた美術品の蒐集は、長男の寛一、第16代当主友成に受け継がれ、西洋・東洋に目を向けた優れたコレクションが形成されました。本展は泉屋博古館東京が所蔵するフランス絵画および日本近代洋画より厳選した85点をご紹介します。クロード・モネ、オーギュスト・ルノワール、藤島武二、岸田劉生ら名品の数々をお楽しみください。

開催期間／7月1日(土)～8月31日(木)

会場／大分県立美術館 3階 展示室B

観覧料／一般1,200(1,000)円 高校・大学生1,000(800)円



クロード・モネ《モンソー公園》1876年



大分県芸術文化友の会  
OITA PREF ARTS & CULTURE MEMBERSHIP  
メンバー募集!



OpAM 大分県立美術館  
Oita Prefectural Art Museum



## JICAデスク 大分からこんにちは!

5月20日(土)・21日(日)の2日間、大分県立看護科学大学主催の大学祭「第23回 若葉祭」が同大(大分市大字廻栖野)にて開催され、JICAデスク大分(JICA九州)はブースを出展しました!



4年ぶりの開催となる同大学祭を通じた連携は、2019年度の出展以来2回目となります。今回は**JICA海外協力隊の春募集(5/19～7/3)**が始まったことを踏まえ、当ブースではJICA海外協力隊の事業概要説明や応募相談の実施、近年に大分県から派遣され帰国した元協力隊員15名の方々の活動報告パネルの展示、JICA広報誌等の紹介を行いました。

2日間にわたって快晴の青空が広がる最高の天気恵まれ、ブースには現役の学生の方々を中心に、卒業生や一般の来場者の方々も多く立ち寄っていただきました。1日目には約15名、2日目には約25名



の方々が当ブースを訪れてくださり、将来の応募に備えたご相談を個別にじっくり受けたり、パンフレットを持ち帰ったりする姿がありました。

ブースでは、海外協力隊経験者の方々からも両日にわたり運営を支援いただきました。ブースに立ち寄ってくださった皆様、関係者の皆様、そして出展支援をいただいた同大の国際看護学研究室の皆様、誠にありがとうございました!



JICAデスク大分ではこのように、県内の大学祭やイベント等への出展を積極的に行っています。ぜひお気軽にお声掛けください!



## JICAデスク 大分

iichiko総合文化センター(B1F) おおいた国際交流プラザ内  
担当: JICA九州・大分県国際協力推進員 井本  
TEL: 097-533-4021 (おおいた国際交流プラザ直通)  
E-Mail: jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp

# プラザだより



## 国際理解講座

## イギリス編



国際理解講座イギリス編を3月11日にiichiko総合文化センター 地下1階 映像小ホールで開催しました。大分県国際交流員として活動し、おおいた国際交流プラザのFree Talk Class英語の講師を務めるスワラ ファイフさんを迎えた本講座はご参加いただいた35名の皆さんと共にイギリスを様々な角度から学ぶ貴重な機会になりました。

初めに、写真を交えながら自己紹介と出身地であるイングランド南西部ドーセット州について話した後、連合王国（イングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランド）としてのイギリスについて、国旗の由来、国歌、お金の種類などイギリスの概要を話していきました。

続いて、マナーを重んじるイギリス人に関する話では、「Politeness（礼儀正しさ）」や「Chivalry（女性を敬う）」など英国らしいと感じる部分もあれば、「待ち合わせには5～10分程遅れる方が礼儀正しい」や「レストランでウェイターを声や手で呼ぶことは失礼にあたる」など、日本との違いに参加者は驚いていました。

他にも、イギリスの食文化では参加者が〇×クイズに参加し、老若男女問わずイギリスで頻繁に議論される「フェミニズム（あらゆる性差別の開放）」「人種差別」「サステナビリティ（持続可能性）」について知識を深め、クリスマスやハロウィーン、セント・パトリックス・デーなど祝日の過ごし方、スポーツや教育、最後にイギリスにゆかりのある映画やドラマなど講師がお勧めの作品を紹介しました。



質疑応答では活発な意見が飛び交い、参加者の皆さんの本講座に対する満足度が伺える瞬間でした。

## 国際理解講座

## 海外生活体験編



国際理解講座海外生活体験編を5月13日にiichiko総合文化センター 地下1階 映像小ホールで開催しました。講師に松尾 美波さん（おおいた国際交流プラザ通訳・翻訳ボランティア）を迎え、30年以上にわたる海外生活（アメリカ、イギリス、フィリピン）で経験した日本との文化の違いや教育の在り方、独立記念日や感謝祭、ハロウィンなどに代表されるアメリカの祝日の過ごし方、季節の移り変わりや日々の生活など、日本人同士だからこそ共感し驚くポイントが盛りだくさんの内容でした。

今回は、通常講師が出身国について話し理解を深めていく国際理解講座とは異なり、まさに「日本人の、日本人による、日本人のための、ワクワク・ドキドキ海外生活体験記」になりました。講師の自己紹介から始まり、住んでいた州を地図で確認、生活していた家や周辺の様子についてユーモアを交えて語る姿は参加者を引き付け、90分の講演はあっという間に過ぎていきました。日本とは違う指を使った数の数え方からトイレのドアを少し開けておく理由、警察に車を停車させられた時取るべき行動、子供に対しても大人と同等に扱い個人を尊重するという考え方など、ガイドブックや旅行では知り得ない内容は参加者の知的好奇心を満たすものでした。

今回参加した皆さんは、講師が感じた文化の違いを聞いてみたかった方や子供が留学やホームステイを予定している方、ご自身が将来海外に移住を考えている方など理由も様々でした。沢山の方にご参加いただき、今後の国際理解講座を開催する上で可能性を秘めた講座になりました。



# おおいた国際交流プラザからのお知らせ

## ●Free Talk Class

県国際交流員（CIR）が出身国の文化や日常生活について参加者に母国語で紹介し、楽しみながら言語に触れることを目的としています。

アメリカ、韓国、中国出身のネイティブと交流してみませんか。（各週で1言語）

日時 金曜日 13:30～15:00

定員 10名

## ●語学講座

新しい言語を習得したい方、学びながらその国の魅力に触れてみませんか。興味のある方はぜひご参加ください。

対象言語：インドネシア語、ベトナム語、イタリア語

定員 各10名

## ●通訳・翻訳ボランティア

おおいた国際交流プラザには、英語・中国語・韓国語・ドイツ語・イタリア語・ロシア語・タガログ語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語・インドネシア語・タイ語・アラビア語・ヒンドゥー語・ウルドゥー語・ミャンマー語・マレー語の通訳・翻訳ボランティアが登録しています。

語学力を活かして、在留外国人のサポートをしたいという方のご登録を随時募集しています！

## ●日本語ボランティア

日本語ボランティアは、日本語を母語としない方に日本語を教えるボランティアです。

登録希望者は、おおいた国際交流プラザのHPから登録用紙をダウンロードしご記入のうえ、FAX、E-mail、または直接提出してください。

## ●医療ハンドブック

大分県内に在住する外国人のための医療ハンドブックをおおいた国際交流プラザのホームページでご覧いただけます(5か国語)ハンドブックでは、日本の医療制度、病院のかかり方、妊娠・出産の時の対応、事故や感染症など、日本で生活で知っておきたい情報を紹介しています。

## ●日本語教室情報

### ▶あいうえおCLUB

①場 所 アイネス（大分市）

日 時 毎週火・金 10:20～11:50

連絡先 090-8353-2485 宮瀬

②場 所 コンパルホール（大分市）

日 時 毎週木 18:30～20:30

連絡先 097-532-5940 加藤

### ▶さくら日本語教室

場 所 大分大学国際交流会館（大分市）

日 時 毎週月 10:15～12:00

連絡先 097-528-1865 川野

### ▶ひまわり

①場 所 明治明野公民館（大分市）

日 時 毎週水 14:00～15:30

②場 所 鶴崎公民館（大分市）

日 時 毎週土 10:00～11:30

③場 所 コンパルホール（大分市） ※こども日本語教室

日 時 毎週土 14:00～15:40

連絡先 097-527-2614 深田

### ▶日本語らくらくトーク

場 所 別府市役所

日 時 毎週月 14:00～15:30

連絡先 0977-21-1131 大塚

### ▶BIP Japanese Conversation Class

場 所 APU PLAZA OITA (AP House 4) 1階

日 時 毎週火 11:00～12:00 (入門)

12:30～14:00 (初中級)

毎週水 11:10～12:40 (初中級)

連絡先 0977-23-1119 神(こう)

